

グローバル人材育成推進事業 審査結果表

大 学 名	東洋大学
申 請 区 分	タイプB
〔評価コメント〕	
<p>学部の特徴を活かした独自性のあるグローバル人材育成計画となっている点、能動的学修の推進を教育の国際通用性向上の重要な要素としている点は評価できる。グローバル人材の4つの柱を明確にし、育成すべき能力が細部まで具体的に検討されている。また、語学力向上に授業外の支援が計画されるとともに、英語で学ぶ専門基礎科目が設置される等、カリキュラムと支援体制が融合的に設計されている。教員のグローバル教育力向上へ向けて「英語での授業実施」「英語での学生指導」の項目がすでに設定され、成果を上げつつあることは評価できる。国際交流ポイントという考え方も特徴的な提案である。E ポートフォリオの導入も予定されているが、学生の学びのプロセスを把握する上で有効な方針である。留学への動機付けのために、これまでの経験を踏まえ、留学中の学生の情報をタイムリーにフィードバックする等、具体的な工夫が計画されている。</p> <p>しかしながら、大学全体に与える波及効果の面では、計画においては十分な説明がなされていない。大学全体のグローバル化に貢献するようなプログラム運営が期待される。また、卒業時における単位取得を伴う海外留学経験者数等、目標値に根拠が不明確な部分も散見され、目標を確実に達成するためにより緻密な計画が必要である。</p> <p>最後に、今回「グローバル人材育成推進事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にす国になるための礎となる「グローバル人材」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	